

～幼児教育から小学校教育へ 学びと育ちをつなぐ～

架け橋だより



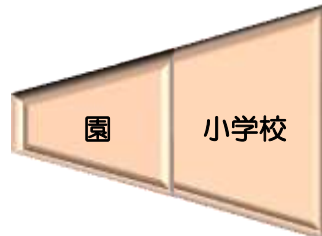
令和7年度 第1号

(令和7年9月発行)

聖籠町教育委員会 教育未来課
幼児教育センター

～幼保小の架け橋プログラム～

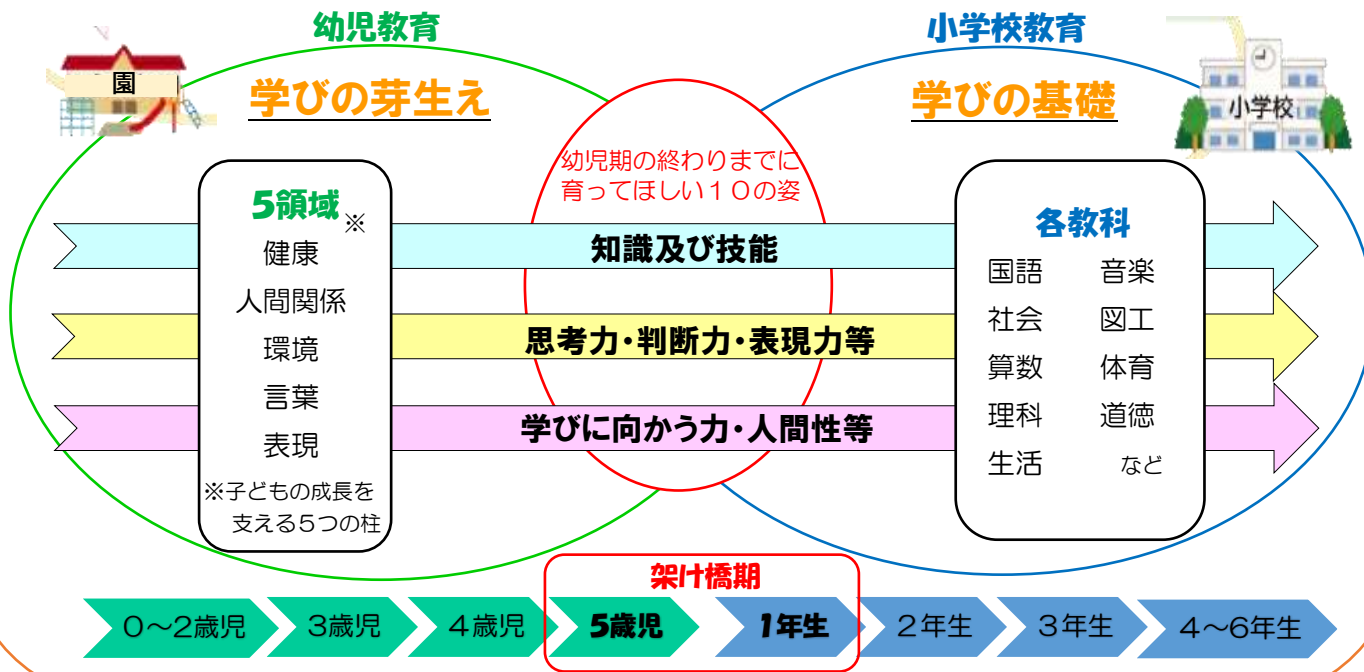
幼児教育と小学校教育を円滑に接続するための取り組みです。「架け橋期」を対象に、幼児教育と小学校教育の連携を深め子どもたちがスムーズに小学校生活へ移行できるよう支援するものです。このプログラムは、子どもたちの学びや生活の基盤を育むことを目指し、主体的・対話的で深い学びの実現を促進します。



園での成長をしっかりと受け止めて小学校教育をスタートさせています。

「架け橋期」ってなに？

幼児期の遊びを通して育まれた資質・能力は、引き続き小学校教育においても高められていきます。特に5歳児から小学校1年生の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤を作る時期で「架け橋期」とよばれます。



聖籠町では…

★架け橋リーフレット「未来を創る子どもの育成」

令和6年4月に3～5歳児、令和7年4月に新3歳児の全家庭に配布



町立・私立園合同研修会の実施

町立せいろう幼稚園では、大学教授を指導者に招いて3歳児・4歳児・5歳児研究保育協議会を開催しています。遊びや活動の様子を撮影した動画を視聴し、環境構成や教師のかかわりについて意見交換を行います。特に5歳児架け橋期研究保育協議会は、園だけではなく小・中学校の職員、近隣市町村の職員も参加し、園での学びや育ちが小学校へどうつながっていくかに向けて話し合いを行います。



『聖籠町架け橋期カリキュラム』検討委員会

『架け橋期カリキュラム』ってなに？

幼児教育（5歳児）と小学校教育（1年生）の円滑な接続を図るための具体的な方策を『架け橋期カリキュラム』とよび、地域の幼児教育と小学校教育の関係者が連携して、教育方法の充実・改善にあたります。

令和6年度、園長と小学校長が3つの小学校区に分かれて架け橋期カリキュラムの検討を行い、どのように連携しているか、また教師のかかわり等について話し合いました。



【令和7年度】

令和7年度は、「聖籠町架け橋期カリキュラム検討委員会」を立ち上げ、5歳児担任や小学校1学年主任等が集まり、幼保小で共通して大事にすることや、園で培われた力を小学校でどのように活かしていくかについて話し合います（年2回）。



【令和7年度事業】



★架け橋期子育てフォーラムの開催

＊日時：令和7年11月8日（土） 10時～11時半

＊場所：聖籠町市民会館 小ホール（保育ルーム有）

＊参加費：無料

＊講師：聖籠町幼児教育センター長 中島 崇

＊テーマ：『子育ての視点をアップデートしてみませんか』

＊内容：町の架け橋プログラムについて紹介

ワークを通じた参加者同士の交流

※参加申込については、後日、園・小学校を通してお知らせいたします

多数の皆さんのお越しをお待ちしています！

★架け橋だよりの発行（年3回）

架け橋期カリキュラム検討委員会、園小での公開保育や公開授業、園小での子どもの姿を掲載し、町広報誌やHPにも掲載予定。

★架け橋期コーディネーターの配置

町立幼稚園の元副園長を山倉小学校に配置。1学年に入り、小学校の実践や教育方法を理解するとともに、子どもの発達や学びの連続性について共有。町内の他の2小学校も定期的に訪問し、円滑な接続について情報交換を実施。